

後援会ニュース「しおかぜ」は街づくりのコミュニティ紙として皆さんの暖かいご支援をお願いします。
ご意見をお聞かせください。



しおかぜ

日本共産党浦安市東部後援会
News

第50号

2013年 6月28日
編集責任者 元木計文
047-355-8526
部内資料

今こそ日本共産党への一票を！

参院選の前哨戦として行われた東京都議会議員選挙で、日本共産党は、前回の8議席から倍増となる17議席を獲得し、民主党を追い抜き、都議会第3党に躍進しました。報道各社の調査によると、安倍内閣の経済政策・アベノミクスを「評価しない」と答えた人の投票先の第1位が日本共産党でした。

豊島区で最少年都議（25歳）となった米倉春奈さんは、演説で必ずこう呼びかけていました。「政治は必ず変えられます。政治を動かす力は、私たち一人ひとりの声だと、私は確信しています」

国民の目線で日本を変える
いのち・くらしを守る政治を原点に

希望ある日本へ
全力でがんばります



小池 晃

1960年東京世田谷区生まれ、52歳
東北大学医学部卒
日本共産党 副委員長
党政策委員長 前参議院議員 医師



寺尾 さとし

1976年静岡市生まれ、36歳
東京情報大学経営情報学部卒
前日本民主青年同盟千葉県委員長
現在、党・千葉県雇用拡大委員長
妻と千葉県美浜区幸町在住
趣味、サッカー・野球・旅行

働く人々の三分の一が非正規社員、年収二百万円以下の人が一千万人をはるかに超えています。生活の苦しさに加え、これは医療保険・年金の問題にも大きく影響してきます。そして今また、自由に働く人の首を切れる法制化の動きがあります。

アベノミクスというマスコミの造語の中で、デフレからの脱却がもてはやされていますが、これはイコール物価の値上げのみにしか見えません。下がり続けている賃金・分配率に政治は手をこまぬいています。



虚心坦懐、静かに考えてみてください。幾十万人もの人生を根底から狂わせ、なおかつ、今も高い放射性物質を出し続けている福島原発。いち早く終息宣言をし、輸出にまで狂奔している政権と業界。

戦後六十八年。百三十万人の沖縄県民が、こぞつて米軍基地はいらないと言いつつ続けているのに、いまなお辺野古への移設を押し付けようとしています。沖縄にいらぬものは、日本のどこにもいらぬ。これは自明の理です。米国に返す以外に方法はないのです。

日本共産党を応援して下さい！

参議院選挙は、7月4日（木）公示、21日（日）投開票です。選挙期間はわずか17日だけです。

アベノミクスの毒矢、原発活用、憲法改正など安倍政権の暴走を阻止し、「国民の命と暮らし」を守るには、日本共産党の議席を増やさなければなりません。そのためには、みなさんの応援が必要なのです。

- 家族、お知り合いの方に支持を拡げて下さい。
- ビラ折りや、法定ビラの配布を手伝って下さい。
- 電話での支持拡大を手伝って下さい。
- 公営掲示板の候補者ポスター貼り（4日）を手伝って下さい。
- 7月2日（火）午前10時より元木さん宅で準備作業を行います。
- 政党助成金を一切受け取らない日本共産党への選挙カンパをお願いします。
- しんぶん赤旗をご購読下さい。

あまりにも露骨な国民生活軽視、財界・資本へのすり寄り政策、そして政治家・政策の右傾化。私たちはこれを黙過するわけにはいきません。

前民主党政権から続く国政選挙公約と一八〇度違う政治の問題があります。消費税増税・TTP参加等々、きれいな言辞で票をかすめとつておきながら、実際には正反対のことを臆面もなくやる。こんな国民への「大うそ」がまかり通る政治の在り様にも断を下さねばなりません。

この機会が、今、やってきました。為政者に政治を負託する国民の意思を示すときがやってきたのです。七月二十一日に行われる参議院選挙において、日本共産党への一票・一票が、政治を変える一票になります。



元木計文

戦前への回帰めいた動きが政治にあるときは、私たちの理性による責任を求められているときでもあります。

造幣局員のぼやき

村上 ますえ

——札束はどこへ——

このところ忙しかったなあ
毎日残業で刷りまくったからな
福沢諭吉の顔なんて見えやしない
ところであの札束 どこへ行ったんだ
おれんそこには回って来ないぞ
おれんとも
来ないどころか出ていくばかりだって
カミさん怒ってた
うちには一枚も持って帰らないで
何してんのよって
札束は地下のルートで直送だよ

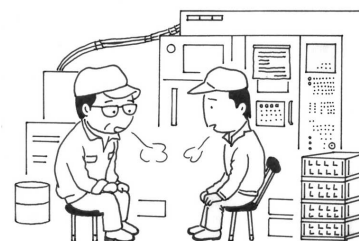
アベノミクス相場で100億円 以上も資産を増やした企業5社

1、ユニクロ	4047億円
2、ソフトバンク	3863億円
3、Jトラスト	868億円
4、楽天	867億円
5、ブリジストン	474億円

●2012.11.14～2013.4.22 までの
期間に増えた保有株時価

おれたちはそんな会社から一円だってもらってないぜ
あくせく印刷機を回したのにさ

国民のため
景気をよくするためって
あんなに札束を積み上げたのに
働き損だったよな おれたち



生物学者の独り言

—第3回—



1. 一人ひとりが違っている事に意味がある。

～ 前回 第49号の続きです ～

違うことの中身には、容貌や頭の回転等の違いも含まれます。みんなが天才ではない。みんなが美人・美男子ではない。それで良い、いや、むしろそれが良いのです。だとしたら、あなたが美人・美男子でなくて、何で落ち込んでいるのでしょうか。美人・美男子は平均顔のことです。平均から外れる人が多くいる事が重要なのです。あなたがちょっと頭がよい（学校でよい成績を取れる、Aさんに比べて仕事が早い、等々）だけで、他の人を見下したりしていませんか？または、上記の逆の考えに悩まされていませんか？違いに応じて、違う仕事、違う役割をすれば良いだけの事です。状況が変われば、どの様な能力が必要とされるのかは変わるものです。

ヒトは、血縁により、地縁により、色々な社会（家族、部族、国家など）を創って生きてきました。ヒトの多様性が重要だとすると、違いのあるヒトを受け入れられない社会は、ヒトの生存に適していない事になります。どうするのか？違いのある人間全てを受け入れられる社会を創れば良いだけの事です。国家が先にあって次に人があったり、国家の為に人があるのではなく、人の為に国家がなければならないのです。それが本来のヒトの生きる道です。（次号に続く）

★創刊50号です！

後援会ニュース「しおかぜ」は2004年5月16日創刊以来、足掛け10年でやっと50号を迎えました。創刊当時は「浦安東部後援会news」という堅苦しい名前でしたが、多くの人に親しまれる ニュースにしたいと、2004年7月20日発行の第4号から「海を望む浦安」をイメージした「しおかぜ」という名前になりました。3ヶ月に1回位の亀の様な歩みで発行してきました。歩みは鈍くても万年？も続けていければと思います。多くの方に読んで頂きたいと思います。【編集長】

お江戸散歩

気楽に集える“たまりば”では、7月12日に「お江戸散歩」を予定通り行います。今回は「フーテンの寅さん」で有名な葛飾・柴又を訪れ、柴又帝釈天、寅さん記念館等を見物します。みなさんの参加をお待ちしています。昼食は現地で食べます。

■ 日時 7月12日（金）新浦安駅 午前9時半集合

■ 場所 葛飾・柴又

■ 費用 1,680円交通費（往復）

新浦安駅－武蔵野線東松戸駅－北総線・京成高砂駅
－京成金町線・柴又駅

■ 持ち物 帽子、雨具、飲み物を忘れずに

■ 連絡先 元木 ☎355-8526

■ 主催 気楽に集える“たまりば”